

『郷土を愛し、理解する活動（七宝焼作りを通して）』

宝小学校

## 1 目的

(1) 宝小学校区にある七宝町遠島地区の伝統工芸品「七宝焼」の製作や学習を通して郷土の伝統工芸のすばらしさを理解するとともに、郷土を愛する気持ちを育てます。

6年生の卒業時には、卒業制作として作品作りを行い、卒業後も母校の伝統を誇りとしてもち続けます。

(2) 「道徳」「社会」「図画工作」「総合的な学習の時間」を中心にした横断的な授業を展開することで、郷土学習をより効果的なものとします。

## 2 内容

(1) 【七宝焼体験】（3・4年）

3・4年生が七宝焼アートヴィレッジを訪問し、七宝焼の歴史や制作法の概要を学習し、七宝焼の小物を作成しました。作品は七宝焼アートヴィレッジや学校の作品展などに展示しました。

(2) 【七宝焼学習会】（5年）

5年生が七宝焼アートヴィレッジを訪問し、制作過程の「銅版打ち」「銀線貼り」などを体験しました。また、七宝焼アートヴィレッジのバックヤードを見学し、七宝焼についてより深く知ることができました。

また、遠島地区にある窯元を訪問し、伝統的な方法で七宝焼を制作する職人の技にふれ、話を聞くことにより、地域の人々の智慧や伝統に尊敬の念を抱くことができました。

(3) 【七宝焼教室・卒業制作】（5・6年）

5・6年生が、地域の七宝焼文化クラブの講師を招き、施釉から窯入れまでの過程を体験しました。5年生は個人作品を作成し、6年生は5年生での経験をもとに卒業制作で共同作品を作り上げました。



【アートヴィレッジでの銅版打ち体験】

## 3 評価

3年生から6年生までの4年間の活動を通して、七宝焼に親しみを覚え、七宝焼制作の技術にふれ、郷土の伝統工芸品への関心を高めることができました。また、地域の人と関わることによって、多くの人の考えや思いに気づき、住んでいる地域社会への理解を深めることができました。

## 4 課題

各学年の体験学習で学んだことを次の学年で生かせるように、振り返りとまとめをしっかりと行い、貴重な体験を有意義なものにし、地域の人との関わりをさらに深めていきます。



【平成29年度卒業制作】

## 1 目的

- (1) 体験活動を中心に学習活動を進め、心豊かな児童を育てます。
- (2) 地域の産業に重点をおいた体験活動を行うことで、郷土理解を深めるとともに、キャリア教育の一環とします。
- (3) 外部講師を積極的に招聘することで、様々な立場の人たちとふれあうことができ、幅の広い学習活動を展開する中で、児童のコミュニケーション能力を向上させます。
- (4) 地域の人々と連携する行事を設定し、地域と学校の結びつきを強くすることで、学校をより理解してもらうための協力体制を構築します。
- (5) 校内現職教育等を計画的に進め、教師力を向上させ、学びの質を高めます。

## 2 内容

### (1) 【お年寄りとふれあう会】（全学年）

スクールガード、除草作業、運動会の児童用テントの設置などでお世話になっている老人会の方を招待して、感謝の気持ちを表しました。一緒に給食を食べ、各学級で企画したゲームや歌を披露しました。

### (2) 【昔の遊びを教わる会】（1年生）

1年生活科の学習として、スクールガードなどでお世話になっている老人会の方に、けん玉やこまなどの昔の遊びを教えてくださいました。グループに分かれて、それぞれの遊び方を教えてもらい、楽しく学ぶことができました。学習した後は、給食と一緒に食べ、昔の話を聞くこともできました。



【こま遊びを教えてくださいました】

### (3) 【異学年交流】（全学年）

異学年の児童が交流し、学びあい、ふれあう活動を行いました。1年生と4年生は「遊具の使い方」、1年生と3年生は「コンピュータの使い方」などを教えあい、温かい雰囲気の中、交流できました。

### (4) 【小・中交流会】（6年生）

6年生が七宝北中学校の芸術鑑賞会に参加し、中学生と合唱交歓会を行い、中学生との交流を深めました。部活動の見学も行い、中学校の生活の一部を知ることができました。

### (5) 【歌声で心をつなぐ学校】（全学年）

合唱指導の講師を招き、発声方法や音の重なり・響きを学びました。発表の場をPTA総会や小・中交流会などに設けて、歌声を披露しました。

### (6) 【町探検】（2年生）

2年生が町探検の一つとして、小グループで、地域のお店や営業所を訪問しました。店の中の様子を見たり話を聞いたりすることで、働く人の気持ちや仕事に関する知識を学びました。引率で保護者の協力を得ながら、家庭・地域とのつながりを深めることができました。

### (7) 【ハッピートークトレーニング】（5年生）

ハッピートークアカデミー協会の方を講師として招き、人との関わりに必要なコミュニケーションスキルについて学びました。「よい言葉と悪い言葉を考えてみよう。」「好きな言葉を見つけて発表しよう。」などの活動を通して、コミュニケーション力を高めるよい機会となりました。

## 3 評価

地域のお年寄りや地域で働く人、中学生など、いろいろな人とふれあい、学び合う活動を通して、児童の豊かな心を育むことができました。

## 4 課題

各体験学習のねらいを明確にし、教科・道徳の学習と結びつけながら、効果的な体験学習を計画的に進めていきます。